

アドテックプラズマテクノロジー (6668) アウトパフォーム

17/8 期会社予想が上方修正され最高益更新予想、18/8 期は新製品寄与もあり収益上伸予想

株価円 (3/13) 1422 円 時価総額 122 億円 (3/13) 発行済株 8,586 千株 (3/13)

PER (17/8DO : 12.5X) PBR (2.77X) 配当 4.00 円 配当利回り 0.44%

要約

- ・ 17/8 期 1Q は半導体・液晶関連事業伸長で 27.3%増収、営業利益は 15.4 倍の 3.24 億円
- ・ 17/8 期会社予想を大幅上方修正で最高益更新予想、受注環境良好で再増額の期待大きい
- ・ 18/8 期は医療機器、リモートプラズマシステム等の新製品が本格拡大し収益拡大続く
- ・ 株価は再上方修正を睨み DO 予想 EPS73.5 円に対し電機平均 28.9 倍並みの 2100 円目標

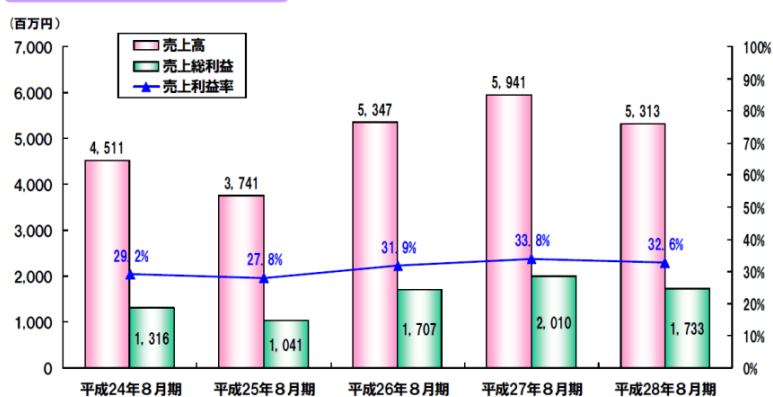
プラズマ用高周波電源、マッチングユニット専門メーカー

半導体・液晶業界に対応する高信頼性のプラズマ用高周波電源、マッチングユニット及びその関連機器の販売製造を行う専門メーカー。プラズマ技術が現在一番多く利用されている分野は、半導体製造分野の薄膜エッチング・アッシング・洗浄である。また電子部品製造にも欠かせない技術である。さらに今後、環境に有害なガスの分野、環境ホルモンの防止膜コーティングなどの応用も現実化しつつあり、多様化していく期待も大きい。

17/8 期 1Q は半導体・液晶関連事業伸長で 27.3%増収、営業利益は 15.4 倍の 3.24 億円

同社収益が半導体設備投資の好調から、大きく変化している。直近の 17/8 期 1Q は売上高 15.42 億円 (前年同期比 27.3%増)、営業利益 3.24 億円 (同 15.4 倍)、経常利益 3.39 億円 (同 11.8 倍)、税引利益 2.48 億円 (24.8 倍)

売上高・売上総利益推移 (連結)

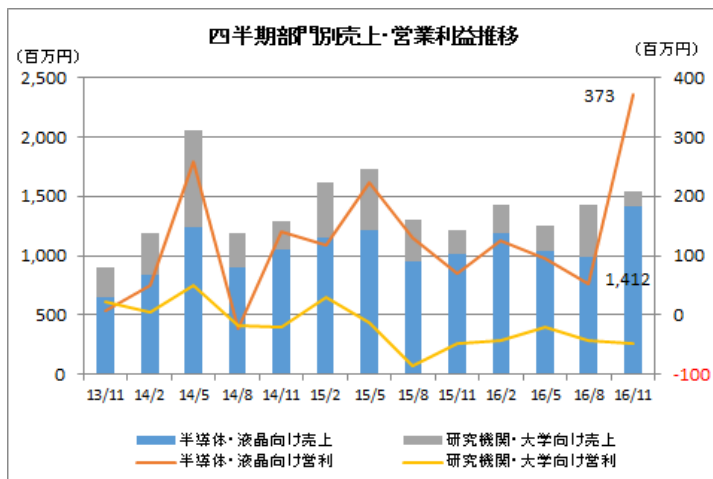


となった。売上面では主力のプラズマ用高周波電源を中心とした半導体・液晶関連事業向けが、スマートフォン等のディスプレイ向け成膜装置向けが好調に推移し、売上高 10.19 億円 (前年同期比 38.6%増)、営業利益 3.73 億円 (同 5.28 倍) と全体を牽引した。一方、研究機関・大学関連は依然として厳しく売上高 1.31 億円 (前年同期比 32.4%減) だったも

の、営業損失は 0.48 億円と 0.1 億円の赤字縮小となった。

17/8 期会社予想を大幅上方修正で最高益更新予想、受注環境良好で再増額の期待大きい

17/8 期 1Q の好調を受け、会社側では 17/8 期業績予想を上方修正し、売上高 63.47 億円（19.5%増、期初計画比 5.54 億円増額）、営業利益 6.84 億円（3.66 倍、同 2.4 億円増額）、経常 6.94 億円（3.4 倍 5.4 倍、同 2.55 億円増額）、税引利益 4.73 億円（16.9 倍、同 1.87 億円増額）と、最高益更新予想とした。部門別予想を開示してい



ないものの、主力の半導体液晶関連事業向けではタッチパネルディスプレイ向け成膜装置（シェア 70~80%）向けの好調に加え、半導体の微細化、3D 積層化を伴った世界的な設備投資増から同社電源への需要拡大を予想する。ARJ では上方修正値は上期増額分のみを加えた（17/8 期 1H 予想は期初計画比 5.34 億円増額の売上高 31.23 億円、営業利益 2.52 億円増額の 4.16 億円、経常利益は 2.67 億円増額の 4.26 億円予想）に過ぎず、最近の半導体、大型液晶設備投資などの状況から、下期も上期並の増額修正が期待できると判断、また、足元の 2Q 業績も 1Q 比較で収益性が大きく下落する要素も少ないことから、上期決算の上方修正着地もあると考える。なお、2Q 決算は 4/14 に発表予定である。

18/8 期は医療機器、リモートプラズマシステム等の新製品が本格拡大し収益拡大続く

同社は 17/8 期に新製品として 2 品目の有望製品を立ち上げた。その一つはプラズマ技術を医療分野へ応用した低温プラズマ発生装置（マイクロプラスター：MicroPlaSter）で、非接触で局所殺菌を可能とする低温皮膚炎治療（温度は 40℃前後）やバイオフィルムの殺菌に効果がある。2014 年 11 月に欧州医療機器認証 CE マークを取得、2016 年 5 月の欧州 Woundas2016 に小型軽量化した SteriPlas を展示、2016 年 9 月には創傷治療学会誌及び創傷治療学会世界連合において「最も革新的な製品」部門の第 2 位を受賞した。1 台 1500 万円の装置で、17/8 期に最低 1 台の納入が見込まれるが、17/8 期以降、年間 10~20 台の販売が期待される。な



おこれを足掛かりに、FDA や日本での認証も視野に入れるほか、用途拡大も見込まれ、同社の新たな収益源として収益に大きく貢献しよう。

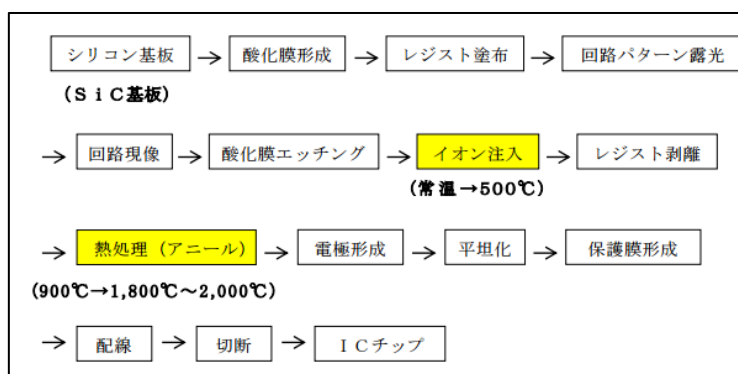
もう一つはリモートプラズマシステム。低消費電力で高効率、広範囲圧力が特徴で、製造装置に付着した微粒子を除くプラズマ発生装置を開発した。従来の数分の1の電力で効率的に洗浄できるため、半導体製造コストの削減につながる。チャンバークリーニング向けに需要が見込めるほか、CVD エッチング用プラズマソース需要としても期待され、新規需要だけでなく、既存の製造ラインの更新需要も見込める。現在、



主力製造装置メーカーへテスト納入、1台 350万円程度であり、18/8期以降、年間100～200台の販売を見込む。同装置はIOTデバイス向けのミニマムファブなどでも利用拡大が進むと見られるほか、異分野での利用も期待できるため、中期的には数十億円規模の製品に育ってこよう。

さらに同社は広島大学、ローツェなどと共同で、SiC基板向け大気圧プラズマ熱処理装置の開発と非接触基板温度測定装置の開発も行っている。SiC基板では

イオン注入で500℃、アニールでは1800℃～2000℃の高温が必要とされ、10000℃以上の大気圧熱プラズマを熱源として加熱する熱処理法で、炉全体を加熱する従来技術（高周波誘導加熱炉）に対して大幅な省エネが実現できるもの。同社は核となる大気圧熱プラズマジェット装置などで成果を上げているが、今後、パワーデバイスの需要拡大とともに新たな需要が期待される。



イオン注入で500℃、アニールでは1800℃～2000℃の高温が必要とされ、10000℃以上の大気圧熱プラズマを熱源として加熱する熱処理法で、炉全体を加熱する従来技術（高周波誘導加熱炉）に対して大幅な省エネが実現できるもの。同社は核となる大気圧熱プラズマジェット装置などで成果を上げているが、今後、パワーデバイスの需要拡大とともに新たな需要が期待される。

株価は再上方修正を睨み DO 予想 EPS73.5 円に対し電機平均 28.9 倍並みの 2100 円目標

同社の株価は、半導体設備投資、次世代液晶設備投資などの好調を受け、現在は17/8期会社修正予想 PER25.6倍水準にあり電機平均 PER28.9倍と比較し、割安感はない。但し当面、最高益更新予想となったこと、再上方修正が見込まれ、来期も最高益更新が続く見通しで、早晚17/8期 DO 予想 EPS73.5 円の 28.9 倍である 2100 円も視野に入る。

さらに今後の成長分野として2製品が19/8期以降に本格収益寄与、低迷している研究機関向けも粒子線がん治療設備の各県庁所在地1施設構想の具体化が進むなども評価すれば、中期的に2014年8月終値の2696円を抜く展開も期待できる。

アドテックプラズマテクノロジー(6668)		(million yen, yoy%, yen/share)									
	SALES	yoy	OP	yoy	RP	yoy	NI	yoy	EPS	Div.	
15/8期	5,942	11.1%	526	48%	636	59%	446	79%	52.0	20.00	
16/8期	5,313	-10.6%	187	-64%	130	-80%	28	-94%	3.3	4.00	
17/8期1Q	1,542	27.3%	324	15.4倍	339	11.8倍	248	24.8倍	28.9	0.00	
17/8期2Q会社予想	1,581	11.0%	92	14%	87	3.6倍	53	2.0倍	6.2	2.00	
17/8期1H期初会社予想	2,589	-1.8%	164	61%	159	3.1倍	81	2.2倍	9.5	2.00	
17/8期1H会社修正予想	3,123	18.5%	416	4.1倍	426	8.2倍	301	8.4倍	35.1	2.00	
17/8期2H期初会社予想	3,204	19.6%	280	230%	280	261%	205	黒転	23.8	2.00	
17/8期2H会社修正予想	3,224	20.5%	268	216%	268	245%	172	黒転	20.1	2.00	
17/8期期初会社予想	5,793	9.0%	416	2.2倍	439	3.4倍	286	10.2倍	33.4	4.00	
17/8期修正会社予想	6,347	19.5%	684	3.7倍	694	5.3倍	473	16.9倍	55.2	4.00	
17/8期DO予想	6,600	24.2%	950	5.1倍	950	7.3倍	630	22.5倍	73.5	14.00	
18/8期DO予想	7,600	15.2%	1,200	26%	1,200	26%	760	21%	88.7	18.00	

年度	10/8	11/8	12/8	13/8	14/8	15/8	16/8	17/8 DO予	18/8 ADO予
売上高	4,725	5,284	4,512	3,742	5,347	5,942	5,314	6,600	7,600
営業利益	196	536	110	-159	356	526	187	950	1,200
経常利益	102	468	82	-130	400	636	130	950	1,200
親株主帰属純利益	144	364	3	-89	250	446	28	630	760
					0				
通期	10/8	11/8	12/8	13/8	14/8	15/8	16/8	17/8 DO予	18/8 DO予
半導体・液晶向け売上	3,474	4,145	2,919	2,190	3,639	4,383	4,235	5,500	6,000
半導体・液晶向け営業	197	530	-23	-246	293	612	343	1,130	1,300
研究機関・大学向け売上	1,251	1,139	1,593	1,552	1,709	1,558	1,079	1,100	1,600
研究機関・大学向け営業	-8	8	129	82	61	-88	-155	-180	-100

